

# 一 般 競 争 入 札 公 告

役務の提供等の一般競争入札について、次のとおり公告する。

令和8年2月13日

公益財団法人環境科学技術研究所  
総務部長 佐々木 昭吉



## 1. 競争に付する事項

- 1) 件 名：低線量生物影響実験棟 空調設備等定期点検業務
- 2) 仕 様 等：仕様書のとおり

## 2. 入札方法

- 1) 入札当日参加者名簿に会社名、出席者名（代理可）を必ず記入すること。
- 2) 入札書は原則として封書にて提出すること。
- 3) 入札する額は、作業に要する費用の総額とする。
- 4) 落札決定に当っては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額とする）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- 5) 入札は当研究所の予定価格に達するまで3回を限度として行う。1回目提出する書類は入札書及び見積書とし、以降2、3回目については入札書のみとする。
- 6) 2回目の入札に付し落札者がいない場合において、1者を除いて他の入札者がすべて辞退した場合又は1者を除いて他に有効な入札を行った者がいない場合は、以後の入札は行わずに、その1者との随意契約により契約を締結する。
- 7) 3回目の入札に付し落札者がいない場合は、最低入札価格提示者と随意契約により契約を締結する。
- 8) 第1回目のみ入札書を郵送（書留扱いに限る）により提出することができる。この場合は令和8年3月18日（水）17時までに総務部総務課契約係に到着することを要し、封皮には「令和8年3月19日（木）執行 低線量生物影響実験棟 空調設備等定期点検業務入札書」と明記すること。（入札書及び見積書に記載する日付は開札日とすること。また、封筒には質問書の原本も同封すること。）

## 3. 入札に参加する者に必要な資格

- 1) 入札に参加を希望する者は、以下のいずれかの参加資格を有することを証明する書類を令和8年3月13日（金）17時までに提出すること。なお、当該参加資格を申請中の場合は、申請中であることを証明する書類を提出することとし、入札の日時までに参加資格を有することを証明する書類を提出すること。
  - (1) 当研究所の競争参加資格「役務の提供等（A 機械設備等の保守・運転管理）」の認定を受けた者。
  - (2) 国の競争参加資格「全省庁統一資格」において前号に相当する競争参加資格の認定を受けた者。
  - (3) 自治体の行政機関において前号に相当する競争参加資格の認定を受けた者。
- 2) 入札に参加を希望する者は、本入札の公告日から開札の時までの間に、国又は自治体の行政機関において指名停止の措置を受けていないこと。

## 4. 交付期間

交付の日から令和8年3月12日（木）17時まで

## 5. 入札・開札の日時及び場所

令和8年3月19日（木）14時00分

公益財団法人環境科学技術研究所 本館1Fセミナー室

上記日時に遅れたときは、入札に参加することができない。

## 6. 契約条項及び仕様書を示す場所

〒039-3212

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字家ノ前1番7

公益財団法人環境科学技術研究所

総務部総務課契約係 山本 良亜樹

（作業請負契約一般条項及び仕様書等を配付します）

## 7. その他

別紙のとおり

## 補 足 説 明 事 項

- 1) 契約書作成の要否  
不要
- 2) 入札の無効
  - (1) 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札
  - (2) その他入札条件に違反した入札
- 3) 契約手続きについて使用する言語及び通貨  
日本語及び日本国通貨
- 4) 入札者に求められた義務  
入札者が作成した書類等は当研究所において審査し、採用し得ると判断した場合の入札書のみを入札の対象とする。また、提出した資料について説明を求められた時は、これに応じなければならない。
- 5) 落札者の決定方法  
本仕様書を満足できると判断した場合の入札書のうち、予定価格の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、くじ引きによる抽選により落札者を決定する。  
入札は、契約の申込として取り扱う。
- 6) 入札保証金及び契約保証金  
免除する
- 7) 支払条件  
検査払い
- 8) 必要書類  
入札には以下の書類を持参すること。
  - (1) 入札書：3枚
  - (2) 見積書：公益財団法人環境科学技術研究所 佐々木 昭吉 宛  
(入札書に記載する金額の内訳を記載すること。)
  - (3) 見積書用紙：複数枚  
(「(2) 見積書」の中で、値引き額及び値引き後合計額が記載されていないもの。随意契約時に金額を記入のうえ提出すること。)
  - (4) 質問書：原本
  - (5) 委任状、その他これに準ずる書類：代理人(随意契約に関する権限も有すること)をもって入札する場合に提出すること。
- 9) 現場説明  
無し
- 10) 質問書
  - (1) 提出期限：令和8年3月13日(金)：12時まで  
入札に参加を希望する者は、質問の有無に関わらず、電子メールにて質問書を提出すること。
  - (2) 回 答：令和8年3月16日(月)13時～17時  
質問があった場合、上述の時間内に電子メールにて回答する。なお、回答は、入札に参加を希望する者全てに一斉送信する。
  - (3) 質問書の提出先  
総務部総務課契約係 山本 良亜樹  
E-Mail ies\_keiyaku@ies.or.jp  
T E L 0175-71-1215 (直通)
- 11) その他
  - (1) 入札申込者心得書のとおり。
  - (2) 契約名称、契約締結日、契約相手の商号又は名称・住所、契約金額を当研究所ホームページに掲載する場合がある。

# 入 札 書

件 名：低線量生物影響実験棟 空調設備等定期点検業務

金 額：	円
<hr/>	
消費税：	円
<hr/>	
合 計：	円
<hr/>	

上記金額により契約条項を承認のうえ入札いたします。

令和 年 月 日

公益財団法人環境科学技術研究所

総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所

会社名

代表者

代理人

印

印

令和 年 月 日

## 質 問 書

公益財団法人環境科学技術研究所  
総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所  
会社名  
代表者

印

入札件名：低線量生物影響実験棟 空調設備等定期点検業務

### 【質問事項】

・

令和 年 月 日

## 委 任 状

公益財団法人環境科学技術研究所  
総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所  
会社名  
代表者

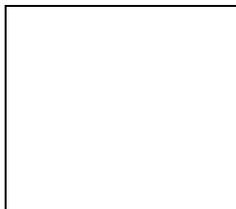
印

私は、下記の者を代理人と定め、次の権限を委任いたします。

受 任 者 住所  
所属  
氏名

委任事項 以下の入札並びに見積に関する一切の事項  
・ 低線量生物影響実験棟 空調設備等定期点検業務

受任者使用印鑑



令和 8 年度

低線量生物影響実験棟

空調設備等定期点検業務

仕様書

公益財団法人 環境科学技術研究所

## 1. 目的及び概要

本仕様書は、公益財団法人環境科学技術研究所（以下「当研究所」という。）低線量生物影響実験棟における空調設備等定期点検業務を受注者に請負わせるための仕様について定めたものである。

本施設は、マウス等を飼育管理する動物管理区域（SPF 区域）、放射性同位元素を使用し実験する放射線管理区域、作業員居室・倉庫等の一般区域等の複数の異なる特徴を持った区域より構成され、これらの区域の用途に合わせた空調運転（空調環境条件）を常に一定に行っている施設である。特に実験動物管理区域においてはマウス等への影響を考慮し室圧、温度、湿度を厳密に維持する必要がある、そのためには、施設に付随する空調設備、機械設備、電気設備等（以下「空調設備等」という。）各々が健全であることが重要で、突発的な故障・異常等の不具合は避け安定的な機能を維持しなければならない。

そのため、本施設の空調設備等における主要設備等については、健全性の向上かつ予防保全を目的として分解点検等を行うものである。

受注者は、本施設の空調設備等の特性、関連法令等を十分に理解し、受注者の責任と負担において本業務を実施するものとする。

## 2. 実施場所

公益財団法人 環境科学技術研究所 低線量生物影響実験棟  
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字家ノ前1番7

## 3. 実施期間

令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日

## 4. 点検範囲

主要設備一覧（別紙1）のとおり

## 5. 点検内容等

主要設備一覧（別紙1）に示す、空調設備等の法定及び自主定期点検等を、作業基準（別紙2）及び部品一覧（別紙3）に基づき実施する。

## 6. 作業責任者及び業務に必要な資格

### (1) 作業責任者

- ① 各種定期点検にあたっては、受注作業員（以下「作業員」）の中から、作業責任者1名を選任する。
- ② 作業責任者は当研究所との連絡、作業の取りまとめ等にあたる。

## (2) 必要資格

作業者の中には、以下の有資格者を含むこと。

- ①普通第一種圧力容器取扱作業主任者講習修了者 : 1名以上  
(蒸気発生器、蒸気ヘッダ、温水膨張タンク、冷水膨張タンク等の点検)
- ②乙種第4類危険物取扱者 : 1名以上  
(非常用発電機用軽油、除雪機用ガソリン、ボイラー用重油等の取扱い)
- ③第一種酸素欠乏危険作業主任者講習修了者 : 1名以上  
(給水タンク等の点検)

## 7. 提出書類

- (1) 責任者届 1部 契約後速やかに
- (2) 工程表 1部 契約後速やかに
- (3) 点検報告書 1部 作業終了後速やかに
- (4) その他、当研究所が必要とする書類 必要部数 随時

※点検報告書の取りまとめ方、提出時期等は、別途、当研究所に確認すること。

## 8. 支給品等

- (1) 当該業務に直接必要な機材・消耗品類は、原則として当研究所が支給もしくは無償で貸与する。ただし支給品・貸与品の範囲等の詳細に関しては、現場協議の上、決定する。
- (2) 支給品及び貸与品は、管理台帳を作成し在庫品の管理を行う。
- (3) 当該業務に必要な光熱水料及び電話料は、当研究所が負担する。
- (4) その他当研究所が必要と認めたもの

## 9. 検収

本仕様書の定めるところに従い作業が確実に実施されたこと及び提出書類の確認をもって検収とする。

## 10. 特記事項

- (1) 受注者は、実験動物管理区域内の作業に当たっては、区域への入退域方法及び区域内の作業制限等に関して、事前に当研究所より注意事項等を確認し、作業することとする。
- (2) 受注者は、作業日時については、年間工程予定表を作成し、事前に当研究所に確認して決定するものとする。
- (3) 受注者は、作業の実施については、事前に点検対象設備に関する点検範囲、設備停止や運転の手順、点検開始の条件等を当研究所に確認したうえで、点

検対象設備毎に点検要領書を作成し、計画的に作業することとする。

- (4) 受注者は、作業中においては、作業設備の故障や異常等の不具合の早期発見に努めること。また、不具合を発見した場合は当研究所に確認したうえで、実験研究への影響を最低限に抑えるための応急処置又は恒久対策を施すこととする。

#### 1 1. その他

- (1) 受注者は、労働基準法その他関係法令上の責任及び作業従事者の健康、安全、規律、及び風紀の維持に関する全ての責任を負うものとする。
- (2) 受注者は、作業実施にあたって、法令上、主任技術者の選任及び測定義務がある場合等は、速やかに法令を遵守し作業を進めることとする。
- (3) 本業務遂行中に作業従事者が被った災害については、当研究所側の原因により生じた災害を除き当研究所は責任を負わないものとする。
- (4) 作業従事者は、本業務の実施時間内において火災、津波、地震、落雷、停電等の災害が発生した場合は、安全確保に協力するものとする。
- (5) 受注者は、当研究所が伝染病の疾病（新型コロナウイルス感染症等）に対する対策を目的として対処方針等を定めた場合には、これに協力するものとする。
- (6) 受注者は、業務上知り得た情報を当研究所の許可なく第三者に提供してはならない。
- (7) その他、業務遂行に必要で本仕様書に定めのない事項が発生した場合は、当研究所と受注者間で協議し、合意のもとに実施するものとする。

以上

## 低線量生物影響実験棟 主要設備一覧

点検設備等名称	詳	細
1. 空冷チリングユニット (2台)	[動物実験環境(温度:23±2℃、湿度:50±10%)を制御している空調機等に、冷水を供給する設備である。]	
	No.1	No.2
	メーカー : 日立ジョンソンコントロールズ空調(株)	メーカー : 日立ジョンソンコントロールズ空調(株)
	型式 : RCF1180AZ1B	型式 : RCF1180AZ1B
	製造年月 : 2022年12月	製造年月 : 2020年3月
	製造No. : U7776089	製造No. : U7771543
	圧縮機 : 22kw	圧縮機 : 22kw
	冷却能力 : 106kw	冷却能力 : 106kw
	電源: AC3φ 200V 50Hz	電源: AC3φ 200V 50Hz
	冷媒ガス : R134a × 34kg	冷媒ガス : R134a × 34kg
2. 温水ボイラー	[動物実験環境(温度:23±2℃、湿度:50±10%)を制御している空調機等に、温水を供給する設備である。]	
	No.1	No.2
	メーカー : (株)日本サーモエナー	メーカー : (株)日本サーモエナー
	型式 : KSAN-160HH	型式 : KSAN-160HH
	製造年月 : 2016年2月	製造年月 : 2018年11月
	製造番号 : SA16C0388	製造番号 : SA16C0862
	定格出力 : 186kw	定格出力 : 186kw
	伝熱面積 : 4.9m <sup>2</sup>	伝熱面積 : 4.9m <sup>2</sup>
	最高使用圧力: 0.49MPa	最高使用圧力: 0.49MPa
	使用燃料 : A重油	使用燃料 : A重油
	油圧 : 1.1±0.05MPa	油圧 : 1.1±0.05MPa
	燃料消費量: 21.2L/h	燃料消費量: 21.2L/h
	設備電力 : 0.54kw	設備電力 : 0.54kw
	温水流量 : 16000L/h	温水流量 : 16000L/h
3. 蒸気ボイラー	[蒸気発生器(飼育区域加湿用)、高圧蒸気滅菌器、洗浄器(ケージウオッシャー)に給蒸する設備である。]	
	No.1	No.2
	メーカー : (株)日本サーモエナー	メーカー : (株)日本サーモエナー
	型式 : EQSH-501KM	型式 : EQSH-501KM
	製造年月 : 2016年7月	製造年月 : 2012年3月
	製造番号 : Q050C1193	製造番号 : Q050B1668
	最大蒸発量 : 500kg/h	最大蒸発量: 500kg/h
	伝熱面積 : 4.81m <sup>2</sup>	伝熱面積 : 4.81m <sup>2</sup>
	発生熱量 : 313kw	発生熱量 : 313kw
	最高圧力 : 0.98Mpa	最高圧力 : 0.98Mpa
	使用燃料 : A重油	使用燃料 : A重油
	最大燃料消費量: 27.8kg/h	最大燃料消費量: 27.8kg/h
	設備電力 : 1.6kw	設備電力 : 1.6kw

点検設備等名称	詳細												
4. 第一種圧力容器 蒸気発生器	<p>[機器性能維持のため、清缶剤を蒸気ボイラ供給水に添加していることより蒸気発生器において「無添加の水道水」を用いて動物実験環境(温度:23±2℃、湿度:50±10%)を制御している空調機等に、給蒸する設備である。]</p> <p>メーカー : (株)亀山鉄工所  製造年月 : 2001年8月  使用開始 : 2002年9月  検査番号 : 宮溶8183  構造検査番号 : 宮13906  検査証有効期間 : 2014年9月2日まで  検査証番号 : 第4070号  登録性能検査機関 : (社)ボイラ・クレーン安全協会 青森事務所  寸法 : 内径600mm、胴長1040mm、全長1513mm  熱交換量 : 91.86Kw  伝熱面積 : 2.83m<sup>2</sup>  内容積 : 胴側0.35m<sup>3</sup>、管側0.025m<sup>3</sup>  供給蒸気圧力 : 0.588Mpa  供給蒸気量 : 160Kg/Hr  発生蒸気圧力 : 0.049Mpa  発生蒸気量 : 123.8Kg/Hr  最高使用圧力 : 胴側0.196Mpa、管側0.686Mpa  水圧試験圧力 : 胴側0.331Mpa、管側1.09Mpa</p>												
蒸気発生器安全弁	<p>メーカー : (株)ベン  品名 : 福太郎  型式 : SL-40 40A  設定圧力 : 0.196Mpa</p>												
5. 第二種圧力容器 蒸気ヘッド	<p>[蒸気ボイラからの蒸気を、蒸気発生器(飼育区域加湿用)、高圧蒸気滅菌器洗浄器(ケージウォッシャー)に安定して供給するために、発生蒸気を一旦蓄積貯蔵する設備である。]</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">既設部</th> <th style="text-align: center;">増設部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メーカー : (株)亀山鉄工所</td> <td>メーカー : (株)亀山鉄工所</td> </tr> <tr> <td>製造年月 : 1994年11月</td> <td>製造年月 : 1998年4月</td> </tr> <tr> <td>検査番号 : 020527</td> <td>検査番号 : 021216</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力 : 10Kg/cm<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水圧試験圧力 : 15Kg/cm<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※既設部はNo.1蒸気ボイラ1台のみ設置時の胴体で、後にNo.2屋外蒸気ボイラを増設した際、同じ胴体を使用できるように増設し内積増量を図ってある。</p>	既設部	増設部	メーカー : (株)亀山鉄工所	メーカー : (株)亀山鉄工所	製造年月 : 1994年11月	製造年月 : 1998年4月	検査番号 : 020527	検査番号 : 021216	最高使用圧力 : 10Kg/cm <sup>2</sup>		水圧試験圧力 : 15Kg/cm <sup>2</sup>	
既設部	増設部												
メーカー : (株)亀山鉄工所	メーカー : (株)亀山鉄工所												
製造年月 : 1994年11月	製造年月 : 1998年4月												
検査番号 : 020527	検査番号 : 021216												
最高使用圧力 : 10Kg/cm <sup>2</sup>													
水圧試験圧力 : 15Kg/cm <sup>2</sup>													
温水膨張タンク	<p>[温水を一旦溜めて安全な圧力管理値内で安定させる圧力容器設備である。]</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>メーカー : 株式会社プロテリアルファインテック</td> <td>最高使用圧力 : 0.80MPa</td> </tr> <tr> <td>型式 : EX-200V</td> <td>試験圧力 : 1.20MPa</td> </tr> <tr> <td>製造年月 : 2024年02月</td> <td>最高使用温度 : 95℃</td> </tr> <tr> <td>製造番号 : 247144</td> <td>全容積 : 200ℓ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>封入圧力 : 0.24MPa</td> </tr> </tbody> </table>	メーカー : 株式会社プロテリアルファインテック	最高使用圧力 : 0.80MPa	型式 : EX-200V	試験圧力 : 1.20MPa	製造年月 : 2024年02月	最高使用温度 : 95℃	製造番号 : 247144	全容積 : 200ℓ		封入圧力 : 0.24MPa		
メーカー : 株式会社プロテリアルファインテック	最高使用圧力 : 0.80MPa												
型式 : EX-200V	試験圧力 : 1.20MPa												
製造年月 : 2024年02月	最高使用温度 : 95℃												
製造番号 : 247144	全容積 : 200ℓ												
	封入圧力 : 0.24MPa												



点検設備等名称	詳細
8. 給水タンク設備 加圧給水タンク	<p>[屋外貯蔵タンクから加圧給水ポンプで給水したものをボイラー室内の加圧給水タンクに受け入れ、水道水負荷に応じて作動する設備である。]</p> <p>メーカー : (株)川本製作所 ※モーター            ユニット名称 : カワエース750 メーカー : (株)川本製作所            ユニット型式 : N3-750 200V、0.75kw            製造番号 : 1080320 ベアリング : 6204VV×2</p> <p>圧力センサー始動揚程            吸い込み運転 : 18m            流れ込み運転 : 25m</p>
9. 自動ブロー装置 ミニマックス	<p>[蒸気発生器内へのシリカ成分付着を防止する目的で缶内濃縮水をブローする設備である。]</p> <p>メーカー : 栗田工業(株)            型式 : R2000            瞬間流量計            メーカー : (株)東京フローメーター研究所            型式 : FC-S40A-SK2            電磁弁            メーカー : (株)京浜精機精製所            型式 : ME6C-C0944-DD</p>
クリオート	<p>メーカー : 栗田工業(株)            型式 : B235            導電率測定範囲 : 10~1,999mS/m            導電率制御範囲 : 10~1,000mS/m            温度測定範囲 : 0~203℃</p>
10. 純水装置 逆浸透装置	<p>[それぞれの機器系統を経て実験マウスの飲料用純水を製造する設備である。]</p> <p>メーカー : オルガノ(株)            型式 : PR-0100SG</p>
FRP水槽	既設品
パワーシスターン	<p>メーカー : 日立アプライアンス(株)            型式 : CX-110W            吐出圧力 : 0.11~0.17MPa            ボールタップ : 吐水量32L/分</p>
加圧ポンプ	<p>メーカー : (株)川本製作所            型式 : NFG-750H-A            自動交互・並列運転高圧渦巻きポンプ 0.3KW×2台</p>
11. 軟水器 No.1、2 蒸気ボイラ用	<p>[市水が硬水のため、軟水に変換し各種機器に供給するための設備である]</p> <p>メーカー : 荏原ボイラ(株)            型式 : ES-12EJ ×2台</p>
No.3、4 蒸気発生器用	<p>メーカー : 栗田テクニカルサービス(株)            型式 : KS-MA-6J ×2台</p>
No.5 純水装置用	<p>メーカー : オルガノ(株)            型式 : SA-0750ZW-000 ×1台            最大採水流量 : 750L/h</p>

点検設備等名称	詳細
12. ポンプ 温水ポンプ	<p>[片吸い込み渦巻きポンプに分類され、空調を許容温度内に保つために、温水ボイラーから空気調和機並びに外気処理ユニット及びファンコイル等、温水系統間の循環を目的として使用している設備である。]</p> <p>メーカー : (株)荏原製作所 ※モーター            型式 : 50×40FS4J51.5 メーカー : (株)東芝            製造年月 : 1994年12月 型式 : IK            製造番号 : PS838412 製造番号 :            吐出し量 : 267ℓ/m No.1 22440882            吐出圧力 : 0.1～0.5Mpa No.2 42410709            全揚程 : 15m E種絶縁            同期速度 : 1500min<sup>-1</sup> 200V、6.9A、1.5kw            ベアリング : 6305VV×2 回転数 : 1420min<sup>-1</sup>            ベアリング : 6205VV×2</p>
冷水ポンプ	<p>[片吸い込み渦巻きポンプに分類され、空調の冷房・除湿時期に屋上の空冷チリングユニットから空気調和機並びに外気処理ユニット及びファンコイル等、冷水系統間の循環を目的として使用している。]</p> <p>メーカー : (株)荏原製作所 ※モーター            型式 : 65×50FS4J52.2 メーカー : (株)東芝            製造年月 : 2010年12月 型式 : IK            製造番号 : 0670401K6 製造番号 :            吐出し量 : 208ℓ/m No.1 62208831            吐出圧力 : 0.35～0.54Mpa No.2 62208841            全揚程 : 18.4m E種絶縁            同期速度 : 1500min<sup>-1</sup> 200V、9.3A、2.2kw            ベアリング : 6307VV×2 回転数 : 14120min<sup>-1</sup>            ベアリング : 6205ZZ、6206ZZ</p>
送油ポンプ 及び 返油ポンプ	<p>[ギアオイルポンプに分類され、A重油サービスタンクから各ボイラへの給油、並びに屋外重油タンクへの返油を受け持つ設備である。]</p> <p>メーカー : (株)荏原製作所 ※モーター            型式 : 12GPA5.2 メーカー : (株)荏原製作所            製造年月 : 1994年12月 型式 : IK            製造番号 : PS466543 製造番号 :            吐出し量 : 6ℓ/m No.1送油 40402038            吐出圧力 : 0.1～0.2Mpa No.2送油 40546489            全揚程 : 15.24m No.1返油 40546487            同期速度 : 1000min<sup>-1</sup> No.1返油 40402035            E種絶縁            200V、1.8A、0.2kw            回転数 : 960min<sup>-1</sup>            ベアリング : 6203VV×2</p>
給水ポンプ	<p>[No.1、2蒸気ボイラ用のポンプ・モーター一体型ベースレスポンプであり、各点検手入れの他にメカシール、ベアリング等の部品交換整備をする。]</p> <p>メーカー : (株)丸山製作所            型式 : 15-PE-50S ×2台</p>

点検設備等名称	詳細
13. 排気ファン 洗浄室系排気ファン	<p>[低線量棟において、マウスの飼育実験における洗浄室内の空気調和を安定させる設備である。]</p> <p>メーカー : (株)日立製作所</p> <p>型式 : MU-175B 消音ボックス付ファン</p> <p>製造年月 : 1994年</p> <p>製造No. : 6223085 (U9943197) モーター形式: EFOUP-K 製造No. : D128504</p> <p>風量 : 1830m<sup>3</sup>/h 出力 : 1.2kW 5.2A</p> <p>風圧 : 10mmAq ベアリング : 6205VV×2</p> <p>回転数 : 1430min<sup>-1</sup> E種絶縁</p> <p>Vベルト : 直結</p>
照射室系空調機 No.1、2排気ファン	<p>[低線量棟において、マウスの飼育実験におけるバリア区域内の空気調和と室圧を安定させる設備である。]</p> <p>メーカー : (株)荏原製作所</p> <p>型式 : No2 1/2SRP30</p> <p>製造年月 : 2014年 モーター形式: SF-HR</p> <p>製造No. : P14709017、P14709020 出力 : 3.7kW 15A</p> <p>CAPACITY : 94m<sup>3</sup>/min ベアリング: 6306VV×2</p> <p>風圧 : 1450Pa E種絶縁</p> <p>回転数 : 2900min<sup>-1</sup></p> <p>ベアリング : UPC306D1 (ピローブロック)</p> <p>Vベルト : A67×2</p>
動物室系空調機 No.1、2排気ファン	<p>[低線量棟において、マウスの飼育実験におけるバリア区域内の空気調和と室圧を安定させる設備である。]</p> <p>メーカー : (株)荏原製作所</p> <p>型式 : No2 SRP30</p> <p>製造年月 : 2014年 モーター形式: SF-HR</p> <p>製造No. : P14709013、P14709015 出力 : 2.2kW 9.5A</p> <p>CAPACITY : 60m<sup>3</sup>/min ベアリング : 6206VV×2</p> <p>風圧 : 1350Pa E種絶縁</p> <p>回転数 : 3600min<sup>-1</sup></p> <p>ベアリング : UPC204D1 (ピローブロック)</p> <p>Vベルト : A57×2</p>
洗浄機排気ファン	<p>[マウス飼育用ケージの洗浄に使用するケージワッシャー用の排気ファンである。]</p> <p>メーカー : (株)日立製作所</p> <p>型式 : POSV-RHA</p> <p>製造年月 : 1994年 モーター形式 : EFOUP-K</p> <p>製造No. : 6223085 (U9943197) 製造No. : D128504</p> <p>風量 : 20m<sup>3</sup>/min 出力 : 0.4kW 2.5A</p> <p>風圧 : 15mmAq ベアリング : 6205VV×2</p> <p>回転数 : 1420min<sup>-1</sup> E種絶縁</p> <p>ベアリング : UC205×2</p> <p>Vベルト : AX37×1</p>



点検設備等名称	詳細
15. 脱臭装置  SPF動物室系統	[空気調和機からの実験マウスのいるバリア内に空調給気を行い、その臭気を直接建屋外に排出しないための脱臭装置である。]  メーカー : 日本無機(株) 型式 : なし (AFR-2) 製造年月 : 1994年 製造番号 : 52299 フィルター : 排気プレフィルター4枚 中性能フィルター4枚 へパフィルター4枚 脱臭フィルター32枚 脱臭プレフィルター4枚
照射室系統	メーカー : 日本無機(株) 型式 : なし (AFR-1) 製造年月 : 1994年 製造番号 : 52298 フィルター : 排気プレフィルター6枚 中性能フィルター6枚 へパフィルター6枚 脱臭フィルター48枚 脱臭プレフィルター6枚
16. 外気処理装置	[洗浄室内への給気装置であり、汚れ空気など外気を直接取り込まないよう、フィルターや温冷水コイルが組み込まれている。]  メーカー : 新晃工業(株) 型式 : DC-3 製造年月 : 1994年12月 製造番号 : 94T-531A-01 除塩フィルター : 1枚 (VX-90-56F) プレフィルター : 1枚 (VT-20S-610F)

点検設備等名称	詳細
17.自動制御装置 空調機周り	<p>[バリア区域内の温湿度や室圧の差圧制御を円滑に制御する装置一式である。]</p> <p>メーカー : (株)山武  型式 : 中央監視装置Savic-netEV Model110  他空気調和機等空調機廻り設備機器全般</p> <p>設置年 : 1995年  主な制御内容: 中央監視制御、給気温度制御、給気加湿制御、給気除湿制御、プレヒーター制御、室内外差圧制御、MD手動開閉操作他。</p>
蒸気周り	<p>[バリア区域内の湿度を加湿蒸気により安定させる蒸気圧力制御装置である。]</p> <p>メーカー : (株)山武  型式 : 中央監視装置Savic-netEV Model110  蒸気発生器廻り設備機器全般</p> <p>設置年 : 1995年  主な制御内容: 蒸気圧力制御(蒸気発生器一次側・二次側の比例制御)、熱源廻り制御、覆水回収タンク液面レベル制御、煤煙濃度監視、感震器制御他</p>
その他	<p>[バリア区域内の温湿度をチラー運転による冷水で安定させ、またファンコイル、オイルタンクその他の機器の制御である。]</p> <p>メーカー : (株)山武  型式 : 中央監視装置Savic-netEV Model110  冷凍機チラーによる冷房・除湿他、ファンコイル等設備機器全般</p> <p>設置年 : 1995年  主な制御内容: 給気温度制御、冷暖房切り替え、ファンコイル発停制御、フィルター制御、オイルタンク廻り制御</p>
18. 蒸気配管	<p>[空調制御用等の蒸気用配管である。]</p> <p>蒸気用配管 : 50A</p>

## 令和8年度 空調設備等定期点検業務 作業基準

No.	点検機器等	作業内容	回数/年	備考
1	空冷チリングユニット	2台:屋上 シーズンイン(運転開始)時 ① 外観点検 ② 冷媒系統点検 ③ 電気系統点検 ④ 水系統点検	1 1 1 1	
2	温水ボイラー	2台:ボイラー室 ① 本体関係 ② 安全装置 ③ 制御系統 ④ バーナー関係 ⑤ 燃焼関係 ⑥ 煤清掃	2 2 2 2 2 2	
3	蒸気ボイラー	2台:ボイラー室(1台)、屋外(1台) ① 本体関係 ② 給水系統 ③ 送風機関係 ④ 安全装置 ⑤ 制御関係 ⑥ バーナー関係 ⑦ 燃焼関係 ⑧ 煤清掃	2 2 2 2 2 2 2 2	
4	第1種圧力容器 内訳 蒸気発生器:1台	1台:ボイラー室 ① 缶体水抜き・各部分解点検整備 ② 缶体(内・外)点検整備 ③ 安全弁点検整備 ④ 圧力計の交換 ⑤ 液面計部品交換整備 ⑥ その他各部点検整備 ⑦ 加湿機能の試運転調整 ⑧ 防錆塗装	1 1 1 1 1 1 1 1	性能検査実施のこと 支給品を使用する 支給品を使用する

## 令和8年度 空調設備等定期点検業務 作業基準

No.	点検機器等	作業内容	回数/年	備考
5	第2種圧力容器 内訳 蒸気ヘッダ:1台 温水膨張タンク:1台 冷水膨張タンク:1台	3台:ボイラー室		
		① 本体の漏洩及び損傷・劣化の有無点検	1	
		② 蓋の締め付けボルト緩み・劣化の有無点検	1	
		③ 管及び弁漏洩・劣化の有無点検	1	
		④ 圧力計点検	1	
		⑤ 蒸気ヘッダー内部点検	1	停電作業時に実施
6	覆水回収タンク	1台:ボイラー室		
		① タンク外観点検整備	1	
		② 水面計バルブ及びガラス管点検整備	1	
		③ レベル計の作動点検	1	
		④ 蒸気覆水配管の点検整備	1	
		⑤ タンク内部点検	1	停電作業時に実施
7	重油サービスタンク	1台:ボイラー室		
		① タンク外観点検清掃	1	
		② レベル計の作動点検	1	
		③ 重油出入口配管の漏洩他点検	1	
		④ サービスタンク内部点検	1	停電作業時に実施
8	給水タンク設備 内訳 貯水タンク:2台 加圧給水ポンプ:1台 その他附属機器	1式:屋外		水質検査機関による水質検査実施
		① 水道水系統切替	1	
		② 貯水タンク及び架台の外観点検	1	
		③ 貯水タンク内部点検整備及び消毒	1	酸欠計測・記録
		④ 加圧給水タンク(内・外)点検	1	
		⑤ 給水ポンプ(モータ絶縁抵抗値測定)	1	
		⑥ 水面計及タンク入りロストレーナ一点検	1	
		⑦ タンク接続配管及び圧力計他点検	1	
		⑧ ボールタップ弁、空気抜弁他各弁点検	1	
		⑨ 凍結防止ヒーター設備点検	1	
⑩ 電気系統点検調整	1			
9	自動ブロー装置	1台:ボイラー室		
		① ミニマックスブロー装置点検整備	1	
		② 電磁弁点検及びブロー量調整	1	
		③ 流量計他点検調整	1	
		④ センサー点検調整	1	
		⑤ クリオート制御機器点検調整	1	

## 令和8年度 空調設備等定期点検業務 作業基準

No.	点検機器等	作業内容	回数/年	備考
10	純水装置	<b>1台:空調機械室</b> ① 原水加圧装置点検 ② フィルターハウジング点検、カートリッジ交換 ③ 逆浸透装置点検 ④ FRP水槽点検、清掃、消毒 ⑤ 水質検査 ⑥ 塩素添加装置点検	1 1 1 1 1 1	水質検査機関による水質検査実施 支給品を使用する
11	軟水器	<b>5台:ボイラー室(4台)、空調機械室(1台)</b> ① タンク内部及び食塩溶解袋点検整備 ② エゼクター及びストレナー他点検整備 ③ イオン交換樹脂点検、交換 ④ 空気抜弁他各バルブ点検調整 ⑤ 再生タイマー調整及び再生動作試運転 ⑥ 原水圧点検及び軟水硬度点検	1 1 1 1 1 1	支給品を使用する
12	<b>ポンプ</b> 内訳 温水ポンプ:2台 冷水ポンプ:2台 送油ポンプ:2台	<b>8台:ボイラー室</b> ① カップリング及び芯間点検 ② 軸受ベアリング交換整備 ③ 軸、スリーブ、羽根車他点検・手入れ及び測定・記録 ④ グランドパッキン点検 ⑤ モーター絶縁抵抗測定 ⑥ No.1温水ポンプ及び架台撤去 ⑦ No.1温水ポンプ及び架台設置及び芯だし調整 ⑧ 試運転調整測定・記録 ※ 送油ポンプについては、③、④の項目を除くものとする	1 1 1 1 1 1 1 1	支給品を使用する 支給品を使用する 支給品を使用する

## 令和8年度 空調設備等定期点検業務 作業基準

No.	点検機器等	作業内容	回数/年	備考
13	排気ファン 内訳 照射室系排気ファン:2台 動物室系排気ファン:2台 洗浄室系排気ファン:1台 洗浄機排気ファン:1台	6台:空調機械室 ① 外観の損傷・劣化及び汚れの有無点検 ② 送風機部品交換整備及びVベルト取替え ③ プーリ溝及び芯間点検 ④ モータ絶縁抵抗測定 ⑤ 各ダンパ機能確認 ⑥ ダクト及びチャンバー(内・外)点検 ⑦ 試運転調整・測定・記録及び室圧調整 ※ 洗浄室系排気ファンについては、 ②、③、⑤の項目を除き、洗浄機排気ファンについては、 ⑤の項目を除くものとする	1 1 1 1 1 1 1	支給品を使用する
14	空気調和機 内訳 照射室系給気2台 動物室系給気2台	1式:空調機械室 ① 外観の損傷・劣化及び汚れの有無点検 ② チャンバ内外点検整備 ③ クーラー、ヒーターのコイル劣化の有無点検 ④ 加湿管及び加湿器のノズル点検整備 ⑤ ドレンパン点検整備 ⑥ 送風機部品交換整備及びVベルト取替え ⑦ モータの絶縁抵抗測定 ⑧ 各ダンパ機能及び差圧計点検 ⑨ 外気取り入れ口点検整備 ⑩ 蒸気及び冷温水配管点検 ⑪ 給気フィルターの点検(除塩・中性能・HEPA) ⑫ ロールフィルター室内点検整備 ⑬ 巻取駆動装置及びリミット点検 ⑭ ロールフィルターの点検 ⑮ 試運転及び室圧調整	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	支給品を使用する 支給品を使用する
15	脱臭装置 内訳 SPF動物室系統:1台 照射室系統:1台	1式:空調機械室 ① 脱臭装置内部及び差圧計点検 ② 脱臭フィルターの点検・清掃(プレ・脱臭) ③ 排気フィルターの点検・清掃(プレ・中性能・HEPA) ④ 試運転及び室圧調整	1 1 1 1	

## 令和8年度 空調設備等定期点検業務 作業基準

No.	点検機器等	作業内容	回数/年	備考
16	外気処理装置	1台:空調機械室 ① 外気処理装置内部及び差圧計点検 ② 冷温水出入口配管の漏洩他点検 ③ 外気処理フィルターの点検(徐塩・プレ)	1 1 1	
17	自動制御装置 内訳 空調機周り自動制御装置 蒸気周り自動制御装置 その他自動制御装置	1式:空調機周り(空調機械室) ① 冷暖切替及び設定調整 ② 動作制御パラメーター点検調整 ③ 温度検出器点検調整 ④ 三方弁点検調整 ⑤ 二方弁点検調整 ⑥ 電動ボール弁点検調整 ⑦ デジタルコントローラー他点検調整  1式:蒸気周り(ボイラー室) ① 加湿制御機器点検調整 ② 圧力発信器点検調整 ③ 圧力指示調整計点検調整 ④ 二方弁他点検調整  1式:その他(モニター室) ① 中央監視盤及び調光盤点検及び設定調整 ② 計測センサー点検調整 ③ 温・湿度発信器点検調整 ④ 微差圧計点検調整	2 2 2 2 2 2 2  2 2 2 2  2 2 2 2	
18	蒸気配管	1式:ボイラー室 ① 主弁交換整備 ② 減圧弁交換整備	1 1	

## 低線量生物影響実験棟 空調設備等定期点検業務 部品一覧

部品・規格等	用途		メーカー	数量
	項目No.	機器名称		
温水ポンプ				
ポンプ 50×40FS4J51.5E	12-⑦	No.1温水ポンプ	荏原	1
架台 50×40FS4J51.5E用	12-⑦	No.1温水ポンプ	荏原	1
蒸気ボイラー				
主弁 10-UGF-VA面間203 50A	18-①	蒸気ボイラー配管	東洋バルブ	1
減圧弁 RP6-G SUS0.03-0.8 50A	18-②	蒸気ボイラー配管	ベン	1